

# 医薬情報クラスター

(代表：薬学研究科 病態生理学 服部 豊)

医療情報クラスターは、「芝クラスター」の一つであり、基礎、臨床から社会医・薬学にいたるまで幅広い分野から、医療情報に深く携わる講座・教室が参加しています。

皆さんは、何のために現在の研究を行っているか考えてみたことはあるでしょうか？もしその目的が、「病める人を救う」といった社会への還元であるならば、その基本となる医療情報を効率よく収集し、自らも得られた研究成果を正しく評価し、それを世の中に発信してゆく方法論を知っておかなければなりません。たとえば、創薬は医・薬学分野で最も重要な研究領域ですが、その成果が実際にヒトに治療薬として用いられるには、新しい医薬品の分離合成、前臨床的検討、さらには臨床試験（治験）に至るまでクリアしなければならない重要ポイントがあります。当クラスターでは、医薬品開発研究の留意点や医療経済学にわたるまで、講義を通じて概説してゆきます。他方、堅苦しい話は抜きにして、医療の現場での業務経験の少ない方を対象に、診察や診断の方法、カルテの見方・書き方から、医療人として皆さんに期待することなど親しみやすい講義も準備しています。

当クラスター参加者には、芝共立キャンパスで行われる講義のうち少なくとも一つには参加していただき、short report を提出していただきます。信濃町キャンパスでの自由参加セミナーも含めて、複数の講義・セミナーに積極的に参加することを強くお勧めします。ラボツアーおよびラボミーティングへの参加は必修とはせず、希望者に対して各人のニーズに合わせた参加の機会を設定する予定です。

本クラスターは、「芝クラスター」の一つであり、下記の研究室が含まれる。

キャンパス	所属	研究室責任者	研究室 URL
芝共立	病態生理学	服部 豊	<a href="http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory13.html">http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory13.html</a>
芝共立	医薬品情報学	望月 眞弓	<a href="http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory23.html">http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory23.html</a>
芝共立	臨床薬物評価学	諏訪 俊男	<a href="http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory20.html">http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/laboratory20.html</a>
信濃町	薬理学	安井 正人	<a href="http://web.sc.itc.keio.ac.jp/pharm/index-jp.html">http://web.sc.itc.keio.ac.jp/pharm/index-jp.html</a>
信濃町	医療政策・管理学	池上 直己	<a href="http://web.sc.itc.keio.ac.jp/hpm/index-jp.html">http://web.sc.itc.keio.ac.jp/hpm/index-jp.html</a>
信濃町	外科学	四津 良平	<a href="http://www.keio-cardiovascular-surgery.com/index.html">http://www.keio-cardiovascular-surgery.com/index.html</a>

## A) ラボツアー

必修とはせず、希望者を募って各人の要望にできるだけ添えるようにスケジュール調整を行う。希望者数が多い場合は、学生ハウプト（代表）を決めて窓口になっていたいただき、スケジュールを調整する。

## B) 講義・セミナー

### 1. 医薬情報クラスター選択必修講義・セミナー

(医薬情報クラスターに参加している学生は下記のうちから最低 1 コマ以上受講することが必要。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院 GP の HP を各自参照のこと。)

月・日・曜日	時限	講義	タイトル	担当者	備考
5月18日(月)	夜間	講義	臨床試験論文の評価と薬物治療の評価(医薬品情報学特論)	望月真弓 橋口正行	医薬品情報学講座主任
5月25日(月)	夜間	講義	薬剤疫学の基礎と医薬品の安全性(医薬品情報学特論)	藤田利治	情報システム研究機構、 統計数理研究所 教授
6月1日(月)	夜間	講義	薬剤経済学の基礎(医薬品情報学特論)	小林 慎	クレソリサーチアンド コンサルティング株式会社 医療アセスメント研究部長
6月11日(木)	2	講義	病態生理学イントロダクション症候学、診察法、カルテ記載法(病態生理学特論B)	服部 豊	病態生理講座主任
6月26日(金)	夜間	講義	臨床試験の種類と意義。動物実験と臨床試験、各種臨床試験の種類と目的(臨床薬物評価学入門)	諏訪俊男	臨床薬物評価学講座主任
7月10日(金)	夜間	講義	国際共同治験(臨床薬物評価学入門)	高橋希人	Japan Center of Pharmaceutical Medicine、 副理事長
7月30日(木)	2	講義	医療人とは(病態生理学特論B)	池田康夫	慶應義塾大学名誉教授、 前医学部長

夜間 18:30~19:50. 7/10 は 21:20 まで。

### 2. 医薬情報クラスター自由選択講義・セミナー

(医薬情報クラスターに参加している学生は聴講可能。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院 GP の HP を各自参照のこと。)

月・日・曜日	時限	講義	タイトル	担当者	備考
6月1日(月)	1、2	講義	我が国の薬害問題(薬理学の系統講義)	別府宏圀	
6月8日(月)	1、2	講義	臨床治験と新薬開発(薬理学の系統講義)	佐藤裕史	クリニカルリサーチセンター 教室主任

## C) ラボ・ミーティングへの参加(希望者のみ)

クラスター内で、それぞれの研究室のラボ・ミーティング等に参加を希望する場合は、研究室責任者が承認した範囲内において、事前連絡して守秘義務を負った上で、参加することができる。個人情報等諸般の事情により、研究室責任者が参加を認めないミーティングもありうるため、必ず事前に研究室責任者に直接問い合わせること。